

よく考え すぐ実行し 常に最善をつくす

奥州市立東水沢中学校通信

NO.5

令和5年6月6日(火)発行

東風

【基礎テスト】を実施しました

5月22日(月)から29日(月)までの期間に「基礎テスト」を実施しました。このテストは国語、数学、社会、理科、英語の5教科について基本用語や漢字、計算、英単語などを出題し、1日1教科ずつ15分間で行いました。

生徒たちは体育祭が終わり、部活動等諸活動に全力で取り組んでいます。学習との両立を図りながら、真剣に問題と向き合っていました。

今月26日(月)、27日(火)には1学期期末テストも予定しています。基礎テストの振り返りを行い、期末テストに活かすことを期待しています。



本と触れ合う貴重な時間 ～【読み聞かせ】を行いました～

5月30日(火)から3日間、奥州市が読書活動推進運動の一環として取り組んでいる読書ボランティアによる【読み聞かせ】を朝読書の時間に各学年で行いました。

ボランティアさんによる絵本や物語の読み聞かせで、生徒にとって本の世界にふれる貴重な時間となりました。読み聞かせを楽しみにしている生徒も多く、2学期にも開催する予定になっています。

読書ボランティアの皆さん、ありがとうございました。



『あきらめないこと』、『いろいろなことに挑戦すること』

3年生

【あすチャレ！スクール（日本財団パラスポーツサポートセンター主催）】を行いました。

5月31日（水）、3年生が、日本財団パラスポーツサポートセンターが主催しているプログラム「あすチャレ！スクール」の永尾嘉章（ながおよしふみ）講師をお迎えし、開催しました。

講話では、車いす陸上をはじめたきっかけや自身が経験してきた努力、挫折、成功の体験から『自分は何もできない』とあきらめず、好きなことととことん挑戦して欲しい。」と生徒に熱く伝えました。



また、競技用車いすの体験や永尾さんによるデモンストレーションが行われ、生徒たちはその迫りに魅了していました。

生徒の感想を紹介します。

- 障がいをもっていても工夫すれば走ることができるし、いろいろなことをすることが出来ることを学んだ。
- 永尾さんの「あきらめない」と「いろんなことに挑戦する」という言葉から、私もいろいろなことに積極的にチャレンジしていきたいと思った。
- あきらめずに全力を尽くせば夢は叶うことがわかった。
- 障がいがあるだけで、「何かができない」というわけではない。私たちにだってできないことがあるのだから、お互いに助け合うことができる素晴らしい共生社会をつくっていく一員になりたいと感じた。

障がいの有無に限らず様々な困難に対して私たちはどのように乗り越えていくか、様々な人たちの共生社会がどうあるべきか、など多くのことを学び、考えさせられた素晴らしいプログラムでした。

どこにいても防災知識をもって ～【防災訓練】を行いました～

6月2日（金）、今年度初めてとなる【防災訓練】を行いました。この訓練は災害発生時に生徒一人一人が安全かつ迅速に避難する流れと行動の心構えを学ぶもので、年に2回計画しているものです。

1回目の今回は巨大地震を想定した訓練でした。地震発生時には頭を落下物から守るとともに、窓や扉を開けるなど、避難経路の確保などを迅速に行い、校舎内避難時は『お・は・し・も（押さない・走らない・しゃべらない・戻らない）』を意識しなければなりません。当日は雨模様で体育館への避難となりましたが、生徒一人一人整然と避難していました。学校にいるときはもちろん、どこにいても防災意識をもち、自分の身は自分で守ることを徹底することを確認しました。

